

「学校における働き方改革」に関する中学生の意見

■実施概要：ワークショップ形式／3年生（1クラス）36名

日時：平成29年10月2日（月）5時間目 / 場所：岐阜市立厚見中学校（アゴラ教室）

摘要：●…生徒の意見／○…進行や情報提供など

（導入）



- ある教員（35歳男性、家族は妻と2児）の1日を確認。
- 朝の5時30分に起床し、6時30分に学校へ出発。学校で授業や給食指導、部活動などを18時ごろまで行い、そこから打合せなどの会議を行う。各種残務処理を行い、帰宅は22時ごろ。食事などを終えて日付が変わる前に就寝。
- （「先生たちは忙しそうだと思うか」との問いに対して）9割程度の生徒が挙手。

（先生の1日を確認して思ったこと）

- 先生は学校でやることが一杯あるので、家に帰っても自分のやりたいことをする時間がないから大変だと思った。
- 部活や先生たちの会議で残業が多くなっている。大変だと思った。



（どのような改善の方法があるか）

- 4～5人で10分程度話し合い。各班の代表者が発表。
- 部活動はコーチ（社会人指導者）に見てもらって、先生はその間に仕事をやると良い。掃除の見回りは先生が分担して行えば、空いた時間を事務処理に使えるのではないか。
- 提出物や宿題は、先生がチェックするのではなく生徒同士がチェックすれば良い。自分たちでやることで、クラス運営に関する当事者意識が芽生えることにもつながるのではないか。
- 自主勉強は生徒同士で見れば良い。掃除の見回りは環境委員会がやれば効率が良い。帰りの会で毎日行っている掃除の振り返りの時間は無駄だと思うので、週1回に減らせば良い。
- 会議の時間を減らせるのではないか。
- 朝読書の時間をなくして授業の開始時間を早める。昼休みの時間を長くして全員が昼寝をすれば、午後の仕事効率上がるのではないか。
- 先生を増員すれば、一人の負担を減らすことができる。
- 何時まで仕事をすると決めてできるところまでやるのではなく、その日に何をするかを決めてやるようにすれば、早く帰れるようになるのではないか。
- 休日の部活動の負担が大きい。社会人指導者などに頼めると良いのではないか。
- （「部活動について活動量をどう思うか」との問いに対して）「もっとやりたい」「減らしたい」がいずれも1割程度で、「今ぐらいでちょうど良い」が8割程度。